

# 受発注情報担保に融資

## 豊田信金 東海初の枠組み採用



豊田信金本店



小本曾鉦三  
理事長

【豊田】豊田信用金庫は、企業間の受発注確定情報を担保に融資する新しいスキーム（枠組み）を採用した。受注企業の運転資金などに對する一時的なつなぎ融資との位置付け。豊田市内の企業にこのほど、融資を実行した。このようなスキームの融資は、東海地方で初めて。今後も幅広い資金需要に對する。

監督官庁から許可を受けたTransax社（本社東京）が、企業間の受発注確定情報を担保として設定。その担保により、同金庫が受注企業に融資を実行す

る。

受注企業は、受注が確定してから実際に発注企業から入金があるまで、仕入れ費用や人件費などが必要となる。その資金ニーズに應えるスキームだ。

今回、マルコオ・ポロ化工（本社豊田市）が豊田市内の企業に発注した建築案件で、受注企業に融資を実行した。

同金庫の担当者は「中堅中小企業の資金ニーズは幅広い。地元密着の信用金庫として、資金供給の選択肢を今後も広げていきたい」と話している。

